

かざま うら

議会だより

初春



同志社留学生とのもちつき (風間浦小学校)



No.93

平成31年1月発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2115
FAX 0175-35-2403

- 2 ■ 議長・副議長年頭挨拶
- 4 ■ 定例会のあらまし
- 6 ■ 常任・特別委員会報告
 - 下風呂温泉施設整備及び役場消防庁舎整備計画に係る特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 総務常任委員会
- 8 ■ 一般質問
- 9 ■ 活動報告
- 10 ■ ちょっと一言・編集後記

持続可能な村づくり



風間 浦村 議会

議長 金森 一規

明けましておめでとうございます。
村民の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、村政の発展と議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

近年、日本のみならず世界各地において、甚大な自然災害が発生しております。幸いにも、我が村においては、ここ数年、大きな災害に遭っていませんが、有事に備え、安心・安全なまちづくりの推進を目指し、地域一丸となって取り組む体制の確立・強化が必要と考えております。

今、村では「第一次風間浦村総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に事業計画が進められています。少子高齢化の加速が止まらず、人口が2,000人をきった中で限られた財源で村民の福祉

の向上が図られるよう、チェック機能として監視し提案もしていきたいと思っております。

また、低迷が長引く地場産業の漁業については、村内外問わず、あらゆる知恵と工夫を結集し、今を生き、未来に繋げる漁業振興対策を強化する必要があると思っております。

私ども議員一同、ますます多様化する社会・経済情勢の流れを適確に把握し、小さくても「持続可能な村づくり」を目指します。そして、創意工夫を重ね、皆様が村政運営に参画できる環境を整えるところにも、村民と行政の架け橋としての役割と責任を自覚し、さらに一歩前へ進める議会活動に取り組んで参ります。

皆さんの声を反映し、この先も「住んでよかった」と実感できる村づくりに、議員一同全力で取り組んでいく所存ですので、

皆さんの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が活力にあふれ、村民皆様が心身共に生き生きと健康に暮らせる一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭にあたり

風間浦村議会

副議長

杉山 太

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃から村議会への深いご理解と議会活動に対し温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年も、西日本や北海道など全国的に災害の多い年で、平成30年7月豪雨など相次いで自然災害が発生しました。被災地の一日も早い復旧・復興と本年の無災害を願うところであります。我々も風水害と地震には特に危機感をもって取り組まなければならないと考えます。

さて、全国的な取り組みであります地方創生でございますが、本村の経済をけん引してまいりました地場産業が、年々大変厳しい状況になってきていると思えます。数年続くスルメイカの不漁は、全国的な現象で漁業者の皆さんは、大変ご苦労されておられると思います。資源の回復を切に願うところでございます。そのような現状ではございますが、昨年11月から取り組み

を始めましたウニ籠養殖の試験的取組みには、大変、期待を寄せているところです。

また、長年地元の皆様に愛されてまいりました大湯・新湯浴舎の老朽化に伴い新浴舎建設に向けて事業が進んでいるところです。新浴舎が桑畑温泉と共に村の皆様に愛され、交流人口が増え、新たな下風呂温泉郷の観光振興に大きく寄与される施設になることを期待するところでございます。

また、「空き家対策」、「高齢者が安心して暮らせる村づくり」そして「若い世代の定住対策」など課題は山積しております。皆様方と一層の連携強化を図りながら、その声を行政に届け、政策の提案や事業の推進、検証に取り組んで参ります。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

風間浦村にとりまして、新しい年が活気にあふれ、村民の皆様が笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

議員一同、

村民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

議員 平井 賢一

” 中 嶋 茂

” 菊 池 隆 年

” 蛸 島 巨

” 能 登 勝 彦

年頭挨拶

条例案等 5 件 補正予算案 4 件を可決

平成30年第4回定例会（12月議会）は、12月5日から7日までの3日間の会期で開会されました。

5日は、村長提案理由、委員会報告の後、1名の議員が一般質問に登壇しました。

7日には、議案の審議・採決を行い閉会しました。

審議された案件内容は、次のとおりです。



12月定例議会



金森 一規 議長

条例案

全会一致可決

★職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

（賛成6・反対0）

内容：県人事委員会勧告に準ずる職員の給料等の

改正

主な改正点

- ・若年層を中心に給料月額の上引き上げ
- ・勤勉手当の支給割合を年0・05月分引き上げ

★風間浦村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

内容：県の特別職給料の改正に準じ、期末手当の

支給割合を年0・05月分引き上げ

★議会議員の報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

内容：県議会議員の一部改正に準じ、期末手当の

支給割合を年0・05月分引き上げ

★指定管理者の指定に関するについて

内容：風間浦保育所の指定管理者に「みちのく福

補正予算案

全会一致可決

★平成30年度一般会計補正予算

（賛成6・反対0）

内容：1千8百93万2千円を減額、総額26億99千17万6千円

歳入の主なもの

・国庫支出金 1百92万円の計上

（社会保障・税番号制度システム整備

費補助金）

・県支出金 3千2百74万8千円の減額

（県営中山間地域総合整備事業委託金）

・繰入金 3百80万円の追加

（前年度繰入金）

・村債 7百70万円の追加

（保育所施設整備事業債）

歳出の主なもの

・過年度分後期高齢者医療療養費給付費

負担金精算分 4百5万3千円の計上

・農道潜在石線整備事業に係る用地取得費

2千7百52万6千円の減額

・農道潜在石線整備事業に係る立木等補償

費 5百24万7千円の減額

・学校冷房設備設置工事実施設計委託料

3百40万円の計上

★定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結

「社会」を指定するためのもの

★定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結

内容：地域経済拡大のため、地場産品販路拡大事業を加えるための変更協定



富岡 宏 村長

★平成30年度国民健康保険特別会計補正予算

内容…57万8千円の追加、総額3億1千9百57万円

歳入の主なもの

- ・特別調整交付金 27万円の追加
- ・財政安定化事業繰入金 30万8千円の追加

歳出の主なもの

- ・療養給付費・調整交付金システム改修業務委託料 27万円の計上
- ・予備費 30万8千円の追加

★平成30年度簡易水道特別会計補正予算

内容…1百万円の追加、総額1億9百59万2千円

歳入の主なもの

- ・一般会計繰入金 1百万円の追加
- ・水道管整備工事請負費 1百万円の追加

歳出の主なもの

★平成30年度介護保険特別会計補正予算

内容…1千万5千円の追加、総額3億8千2百48万8千円

歳入の主なもの

- ・現年度分介護給付費交付金 2百80万円の追加
- ・現年度分介護給付費負担金2百7万5千円の追加

歳出の主なもの

- ・居宅介護サービス給付費 2千7百80万円の減額
- ・地域密着型介護サービス給付費2千6百30万円の追加



定例会の様子



採決の様子

12月定例会

下風呂温泉施設整備及び 役場消防庁舎整備計画に 係る特別委員会

10月19日開催（欠席委員なし）

【行政からの説明事項】

1. 下風呂温泉施設整備検討委員会及びプロジェクト会議の概要について
2. 下風呂温泉整備事業平面図について
3. 下風呂温泉整備事業工程表について



杉山 太 委員長

問

委員

テナント募集する「食堂」の公募方法・選定期間は？

答

行政側から

細部はこれから。募集要項を作成し、村内で応

募なければ村外へも。次回からのプロジェクトチームで運営計画について協議する。

問

委員

消費増税（8% ↓10%）の影響はあるのか。

答

行政側から

平成30年度内（平成31年3月末）の契約であれば8%なので、3月入札に向け、今実施設計に入りたい。

問

委員

2階のイベントコーナーでは何を行うのか。

答

行政側から

今後運営方法を含めて検討する。

問

委員

入浴料金は、村民150円で大丈夫なのか。

答

行政側から

事業認定の際に、

150円で黒字なので200円に上げる必要ないとのこと、150円でスタートする。

問

委員

雪対策のための屋根の構造は？

答

行政側から

雪止めで対応し、ツララの付かない塗装である。



特別委員会の様子

【まとめ】
本基本設計をもって実施設計に入ること等を了承し、実施設計納品後は、速やかに委員会へ建設費等の概要を報告することとしました。

議会運営委員会

11月27日開催（欠席委員なし）



杉山 太 委員長

招集告示日は、11月28日、一般質問は、1名の一般質問が受理された。会議日程は、開会初日の5日は、会期の決定、提案理由の説明、各委員長報告並びに一般質問までとし、7日に議案等の審議を行う。

☆議案等の審議は

報告事項及び人事案件を除く議案は、総務常任委員会へ付託し審議する。

☆人事案件の提案がある場合の表決方法は

従来どおり無記名投票で行う。

平成30年12月定例会の運営に関する事項について審議。

☆定例会は

今期定例会は、12月5日招集の意向を受け、提出となる案件等を勘案した結果、会期は、同日より7日までの3日間とする。

総務常任委員会

12月6日開催
(欠席委員なし)



菊池 隆年 委員長



総務常任委員会の様子

12月5日招集の平成30年第4回定例会開会日に本委員会に付託された9議案について議案順に担当課からの説明を受け審査した。
また、所管事務調査案件に係る審査については、平成30年度工事進捗状況について及び税の収納状況についてを審査した。

☆指定管理者の指定に関することについて

問
委員

風間浦保育所の指定に関して、「みちのく福祉会」の強み及び保育理念について

答
行政側から

複数の保育園を経営しており、経営のノウハウがあり、離職率が少ない等が強みである。

問
委員

指定管理料について十分精査されているのか。

☆行政側から

給与昇給・事業拡大等による支出など毎年数回、支払帳簿等を確認し支払状況を検査している。

☆定住自立圏の形成に関する

問
委員

定住自立圏の形成に係る協定の一部変更には、地熱事業も入るのか。

答
行政側から

協定の一部変更には、地熱事業も入るのか。

今回は産業振興という事で、エネルギー分野は別である。

☆平成30年度一般会計予算を補正することについて

問
委員

農道整備事業の多額の減額の理由は。

答
行政側から

県事業のため、県の算定での当初予算額の計上であり、事業の支払額が大きく下回ったための減額。

問
委員

学校冷房設備設置工事実施設計について、村の実態から冷房設備が必要なのか。

答
教育長から

近年の猛暑による全国

的な熱中症などから子供たちの生命を守るための国の施策であり、今年度着手することにより有利な財政措置をもって実施でき、内容としても必要最小限の所への設置を計画している。

問
委員

ニホンザル看視人について、予算が減額となっているが、その理由と来年度も減員となるのか。

答
行政側から

当初サル看視人を二人募集したが一人の応募しかなかったための減額であり、来年度も一名の計画予定である。

☆平成30年度工事進捗状況及び税の収納状況について

特段質疑なし。

《審査の結果》

付託された全9議案に対し、全会一致で原案どおり可決とした。

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一質問者の持ち時間は1時間に制限されています。

今期定例会では、1名の議員が登壇しました。



中嶋 茂 議員

1. 漁業振興対策について 2. 津波避難道について

2. 津波避難道について

- | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| <p>A
行政</p> <p>雪対策も含め、各自主防災組織をはじめ消防団、関係団体等と連携、協議しながら避難道の維持管理に努めていく。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>維持管理については？</p> | <p>A
行政</p> <p>易国間地区の避難路に4基のLED街灯やソーラー屋外ライトを設置しており、今後は必要に応じて設置を進めていく。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>電灯は設置されているのか。</p> | <p>A
行政</p> <p>第一次避難所の経路には、転落防止柵の設置や階段の改修、標識設置など道路整備を順次実施している。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>高台に避難する道路整備計画はあるのか。</p> |
|--|--|--|---|---|---|



高台への津波避難道路

1. 漁業振興対策について

- | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|
| <p>A
行政</p> <p>現在は、蛇浦漁協が沿岸漁業振興に利用するとの申し合わせがされており、今後においては必要に応じて適宜対応していく。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>蛇浦地区にある中間育成施設の有効活用について</p> | <p>A
行政</p> <p>風間浦村地域協議会の主体性を重んじながら県関係機関との調整や村として出来る範囲で支援していく。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>ウニ籠養殖に対し村としてどんな支援をしているのか。</p> | <p>A
行政</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業等を展開し、管内関係団体と連携を図りながら藻場造成を進めていく。</p> | <p>Q
中嶋</p> <p>今後、藻場再生を再度考える気はないのか。</p> |
|--|--|---|---|---|--|



中間育成施設

【平成 30 年：議会活動報告】

(1) 定例会・臨時会の開催状況

区 分	会 期	会期日数	審議日数	休会日	繰上日数	傍聴者数
第 1 回定例会	3月6日～9日	4日	2日	2日	0日	17人
第 2 回定例会	6月12日～14日	3日	2日	1日	0日	9人
第 3 回定例会	9月3日～7日	5日	4日	1日	0日	7人
第 4 回定例会	12月5日～7日	3日	2日	1日	0日	3人

(2) 審議件数等

区 分	村 長 提 出					議 員 提 出			
	条 例	予 算・ 決 算	人 事	専決処分 ・ 報 告	その他	意見書	条 例	委 員 会 報 告	
定 例 会	15	33	8	6	5	0	1	20	
臨 時 会	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	15	33	8	6	5	0	1	20	
審議方法	本会議即決	0	7	8	4	5	0	1	20
	委員会付託	15	26	0	2	0	0	0	0

(3) 一般質問の状況（カッコ内は、平成 29 年の状況）

区 分	質 問 者 数	内 容 件 数
第 1 回 定 例 会	3人(0人)	6件(0件)
第 2 回 定 例 会	3人(5人)	5件(8件)
第 3 回 定 例 会	2人(1人)	2件(1件)
第 4 回 定 例 会	1人(2人)	2件(2件)
計	9人(8人)	15件(11件)

(4) 委員会開催状況

議会運営委員会	4回	大間原子力発電所対策特別委員会	4回
総務常任委員会	4回	下風呂温泉施設整備及び役場消防庁舎整備計画に係る特別委員会	7回
議会広報編集委員会	9回	予算審査特別委員会	2回

(5) 議員研修等参加状況

実 施 日	研修場所	研 修 内 容
5月24日	青森市 (委員4人参加)	・議会広報研修会（広報の編集手法等の実務研修）
5月29日	東京都 (正副議長参加)	・全国議長・副議長研修会（町村議会の在り方等に係る講演及び事例発表）
7月12～13日	青森市・西目屋村 (全員参加)	・県下町村議会議員研修会（議会活動活性化に関わる講演を聴講） ・バイオマス施設視察
8月24日	青森市 (4人参加)	・全国自治体政策研究交流会議（全国から自治体や自治研究者等が、地域の課題について議論）
10月4～6日	茨城県・福島県 (6人参加)	・新型原子炉に関する技術開発現場視察・被災後、廃炉に向けた現状を視察

